

1. 件名：「日本原子力研究開発機構大洗研究所との原子力規制検査に関する意見交換」に関する面談

2. 日時：令和2年10月30日（金）15時50分～16時30分

3. 場所：

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗研究所 会議室

4. 出席者

(1) 原子力規制庁

原子力規制部 検査グループ 核燃料施設等監視部門

門野安全規制管理官、栗崎企画調査官、伊藤企画調査官

原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

滝吉企画調査官

原子力規制部 東海・大洗原子力規制事務所

橋野統括原子力運転検査官

(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

大洗研究所 所長 他6名

5. 要旨

(1) 原子力規制検査の制度が開始して半年程度経過しており、設置者等の取組み状況や検査制度に関する意見などを聴取するため、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）大洗研究所において、面談を実施した。

原子力規制庁からは、以下の点について質問をした。

- ・大洗研究所における原子力安全の取組みの状況
- ・原子力安全に係るコミュニケーション、資源確保の状況
- ・原子力規制検査制度に対する意見など

(2) JAEAからは、以下のような説明があった。

- ・原子力安全に関しては、作業安全、施設保全、バックエンド対策などの事項について、現状や中長期的にマトリックスで捉えて計画的に進めている。
- ・所長面談などを通じて職員一人一人のプロ意識を涵養しつつ、現場を中心に過去のトラブル等の経験を踏まえた組織的な対応をしている。
- ・加えて、原子力施設検査準備室を所長直下の独立組織として設けて、事業者検査を適切に行えるよう情報交換等の活動を行っている。
- ・検査制度については、運用ガイド等においてグレーデッドアプローチの考慮を明確にして欲しい旨の要望がある。
- ・CAP活動についても、積極的に改善を進めていく。

(3) 原子力規制庁から、引き続き原子力安全の確保と新検査制度への協力を求めるとと

もに、原子力規制検査に関する意見交換会の場を通じて意思疎通を図っていきたい旨を説明した。

6. JAEAからの配付資料
なし

以上